

SCCR 18 の状況について

2009.01.20 上原伸一

< 1 > SCCR 18 の議題

- ・権利の例外と制限
- ・視聴覚実演の保護
- ・放送機関の保護
- ・フューチャーワーク

* 放送機関の保護に関する情報会合・・・5月25日（月）予定

< 2 > 視聴覚実演の保護

2000年外交会議 実質的条項20条のうち第12条が合意に達せず

←アメリカ vs EC の対立解けず 契約優先 vs 国内強行法規

* アメリカ、EC 以外の多くの加盟国は、条約成立を望んでいる。

一方で、アメリカと EC の妥協がない限り条約成立の可能性がないという共通理解。アメリカとヨーロッパは、妥協点見えず、この件に関し接触をしない。⇒ 全体に閉塞感

* 水面下での NGO の動きや、途上国からの条約成立への声

< 3 > 放送条約の保護

○ ウェブキャスティングの問題

- ・ アメリカによるウェブキャスティング保護の要求 (2002SCCR8)
- ・ EC によるサイマルキャスティング保護の要求 (2003SCCR9)

↓

- ・ 2006年5月 SCCR14 ウェブキャスティング、サイマルキャスティング切り離し

一隣接権保護のないアメリカでの理解不足による放送条約反対の動き * スポーツリーグなど

○ ブラジル、インド等の抵抗

- ・ 2003年からブラジル等が、「コンテンツの保護ではなく」との強い主張→パブリック・ドメイン問題、公益問題（情報アクセス）、文化多様性等の主張

↓

○ 2007 年外交会議不成立 否定的なインド、ブラジル等
消極的なアメリカ

—目的、客體、保護の範囲で合意に達せず
—ブラジル等技術的手段の保護削除要求へ

↓

- ・ ブラジル等ラ米中心に「制限と例外」のルールメイキング要求
- ・ くすぶるアメリカのウェットキャストイング
- ・ 積極姿勢を取りきれない E C . . . 実情進むヨーロッパのサイマル
キャストイング

* A P E C におけるアメリカの動き、Council of Europe における EU
の動き、W I P O でのラ米を中心とした「制限と例外」動き
それでも、放送条約成立支持の国は多数派—コンセンサス主義の限界
に対する諦めと捨てられないコンセンサス主義

< 制限と例外 >

○ 放送条約論議の中での「制限と例外」

- ・ 2005 SCCR/13/4 チリ提案 . . 例外の列挙
- ・ 2005 SCCR/13/5 チリ提案 . . 例外と制限の分析
- ・ 2005 SCCR/13/3Corr. ブラジル提案 . . 制限と例外の列挙、技術的手段の保護削除要求
- ・ 2006 SCCR/14/ 6 ペルー提案 . . 制限と例外の列挙等 (3step-certain special cases)

○ 2008 年以降横断的な「制限と例外」ルールメイキングの要求

- ・ 2008 SCCR/16/2 ブラジル、チリ、ニカラグア、ウルグアイ「例外と制限」提案
- ・ 2008 SCCR17 11月3, 4日 制限と例外の情報会合
- ・ 2008 SCCR17 WBU「視覚障害者等のアクセス改善条約案ための」
ルームドキュメント配布→市民グループ、途上国の支持